

年金者組合三八支部ニュース

第240号 2011年8月22日
発行責任者 高橋 靖昌 (三八支部委員長)
Tel 0178 (43) 8249
〒039-1166 八戸市根城7-7-19

第23回県本部定期大会(7・22)に三八から10名が参加

6年後20万人の組織(全国)に 呼応し青森県は支部を増やそう

7月22日、青森市で第23回青森県本部定期大会が開かれた。三八から8人の代議員と2人の県執行委員が参加した。大会は、全国の方針を受けて6年後に20万人の組織にするために青森県も奮闘することを決定した。(現在10万人)そのためにも支部の数を増やすことを緊急の課題として確認した。(現在7支部)

バースデーカードに大きい反響 山本和子代議員

2,3年前から新聞のちぎりを絵を新婦人の班の小組として取り組んでいた。たまたま、年賀状や暑中見舞いのはがきをお母さんや奥さんたちに出していたのが、高橋委員長が目にとまり、これを年金者組合員の安否確認を兼ねたバースデーカードとして贈りたいので、作ってもらえないのかと相談を受けた。

組合の執行委員会の後押しも得て新婦人などで一緒にやっているお友達というより年金者組合の女性部数人で6月の誕生日の人から始めた。

おしゃべりしながら、でき具合を見たりして楽しみながら作っている。和紙のちぎりは名古屋の新婦人の小組から始まり広まった。字のごとく新聞のカラー部分(写真や広告)を使う。お金もかからず、誰でも手軽に取り組める。構図を考えたり、頭と指先を使うので、ボケ防止の一助になると思い皆さんに勧めている。これまで20人位に贈った。



作成したちぎり絵はがきを披露する矢代代議員と発言する山本代議員。



大会後の恒例の交流会は盛り上がり、なかなか発言が終りなかつた。そんな中でも懇談する三八代議員団

地労連 緊急学習会

「原発事故と放射能」

講師 竹本照彦氏 (八戸生協診療所所長)

* 日時 9月1日(木) 18時半～19時半

* 会場 三八教育会館

タイムリーな学習会です。あなたも是非参加を!

年金パンフ学習会

■ 10月11日(火) (予定)

■ 長者公民館 午後1時半から3時半

■ 講師 阿部耕一執行委員

前回配布した年金パンフについて学習します。質問にお答えします。パンフ持参ください。

いよいよ 日本高齢者大会 in 青森

9月12日(月)～13日(火)青森市を会場に日本高齢者大会が開かれます。年金者組合三八支部は10名以上の派遣を決め取り組んでいます。まだ間に合います。参加できる方は、お知らせください。

一口500円の大会成功カンパにご協力ください

参加者の負担を少なくしたいということで、カンパを集めています。大会成功を願う気持ちをカンパに託していただきたいものです。

聞いてよ
エンディングノート
矢代 晶子

全く実感のないままに、間もなく70歳を迎えることになった。若いときに想像した古希は、「頼りがいがあり、人格も円熟の境地に達している」イメージだった。思慮が浅く、大人になりきれない部分をたくさん残したままの自分に困惑している。

周りに対して必要以上に身構えていた50代前半迄と違い、開き直って素直になれたことで楽になり、楽しく過ごせている

ともあれ、誕生日は間違いなく迫っている。「今がチャンス」と「エンディングノート」を書くことを思い立ち、取り掛かっている。

動機は、自分は「食べるの大好き人間」なので、自分の口から食べられなくなったらその時点で終りにしたいことと、家族(男2人)が「おまかせ大好き人間」で、なんでも私にまかせっきりなので、もしものことがあればどうしようもなくなる。そのために色々書き留めておかなければならないと思っただけである

自分なりにある程度考えていたつもりだったが、書いてみると、「なかなか難しい。どんな状況で終りを迎えることになるのか。こればっかりは、自分の意志ではどうにもならないが素直に迎えられるら良いと思う。